

# 事後評価アンケート結果

整理番号	H30 - 2
------	---------

事業名	海岸保全施設整備事業(高潮対策事業)	箇所名等	鱈ヶ沢漁港
-----	--------------------	------	-------

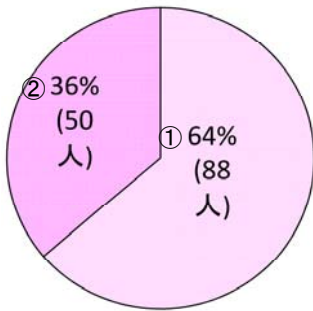
アンケート対象	事業の直接の受益者である想定浸水区域内の家屋の住民及び事業所(447戸)を調査対象とし、アンケートを実施した。		
配布方法	家屋及び事業所を訪問し、直接配布	(配布部数)	447 部
回収方法	家屋及び事業所を訪問し、直接回収	(回収部数)	138 部
回収率	30.9%		
アンケート結果			

本アンケートは、配布数447部に対して回収率が30.9%であったが、回答数が138部あるため全体評価は妥当と判断される。

## 1. 回答者の属性

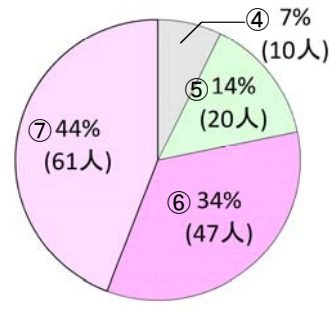
問1【性別】

※有効回答数:138



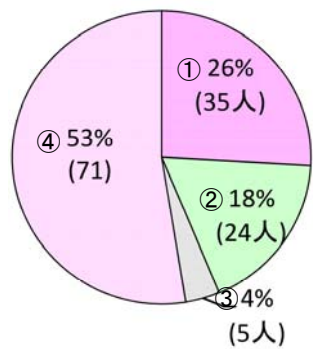
問2【年齢層】

※有効回答数:138



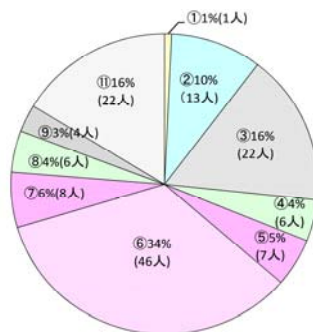
問3【職業】

※有効回答数:135



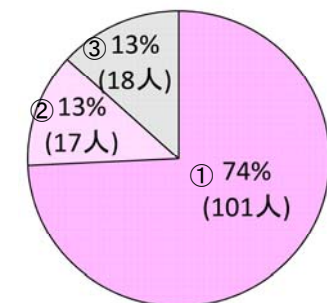
問4【住まい】

※有効回答数:135



問5【認知度】

※有効回答数:136



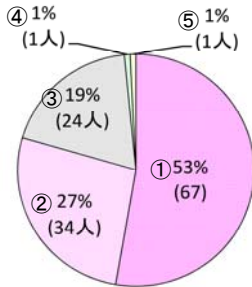
# 事後評価アンケート結果

整理番号	H30 - 2
事業名	海岸保全施設整備事業(高潮対策事業)
箇所名等	鱒ヶ沢漁港

## アンケート結果

### 問6【必要度】

※有効回答数: 127



- ① 必要であった
- ② おおむね必要であった
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり必要ではなかった
- ⑤ 必要ではなかった

#### ○設問

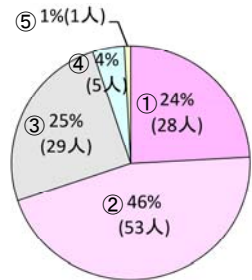
あなたは、地域にとってこの鱒ヶ沢漁港海岸の整備事業は必要であったと思いますか。

#### ○具体的な意見

- 必要であった(おおむね必要であった)の理由
  - ・波浪等から人家や町を守る為に必要(17件)
- 必要でなかった(あまり必要でなかった)理由
  - ・景観が改変された(1件)

### 問7【達成度(高潮・波浪)】

※有効回答数: 116



- ① 達成された
- ② おおむね達成された
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり達成されていない
- ⑤ 達成されていない

#### ○設問

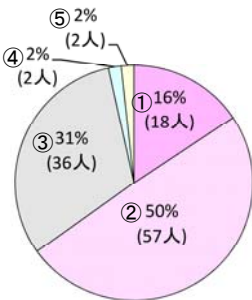
鱒ヶ沢漁港の護岸や潜堤が整備された結果を見て、高潮や波浪に対して越波による人家などの浸水被害を防止するという事業目的が達成されたと思いますか。

#### ○具体的な意見

- 達成された(おおむね達成であった)の理由
  - ・波浪の時などの越波が少なくなったと感じる。(6件)
- 達成されていない(あまり達成されていない)理由
  - ・施設完成後も波しぶきは民家まで達している。(2件)

### 問8【管理状況】

※有効回答数: 115



- ① 適切
- ② おおむね適切
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり適切でない
- ⑤ 適切でない

#### ○設問

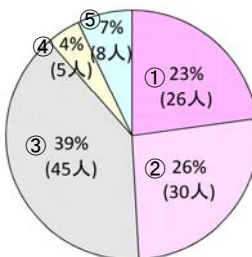
この事業で整備した鱒ヶ沢漁港の護岸や潜堤は、青森県が管理しておりますが、施設の修繕などの管理に満足していますか。

#### ○具体的な意見

- 適切(おおむね適切)の理由
  - ・見た目もきれいになっている(2件)
- 適切でない(あまり適切されていない)理由
  - ・何を修繕してるか分からない。(2件)

### 問9【環境変化】

※有効回答数: 114



- ① 良くなった
- ② やや良くなった
- ③ どちらとも言えない
- ④ やや悪くなった
- ⑤ 悪くなった

#### ○設問

鱒ヶ沢漁港の護岸や潜堤の整備事業の実施により、周辺の環境は、事業実施前と比べてどう変化しましたと思いますか。

#### ○具体的な意見

- 良くなった(やや良くなった)の理由
  - ・生活環境や景観が向上し、散歩しても気持ちがいい。(5件)
  - ・広がったように思う。(2件)
- 悪くなった(やや悪くなった)理由
  - ・海岸の自然環境は悪化したと感じる(6件)
  - ・堆砂が進行し、舟の出し入れが困難になった(1件)

# 事後評価アンケート結果

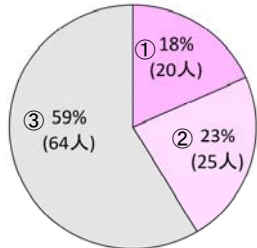
整理番号	H30 - 2
------	---------

事業名	海岸保全施設整備事業(高潮対策事業)	箇所名等	鱒ヶ沢漁港
-----	--------------------	------	-------

## アンケート結果

### 問10【改善点】

※有効回答数: 109



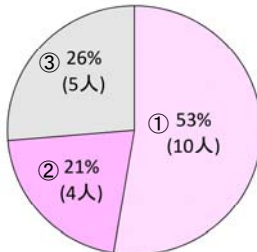
- ① 改善点がある
- ② 改善点はない
- ③ どちらとも言えない

#### ○設問

この事業で整備した鱒ヶ沢漁港の護岸や潜堤について、改善した方がよいと思う点がありますか。

### 問10-1【改善点】

※有効回答数: 19



- ① 護岸
- ② 潜堤
- ③ その他

#### ○設問

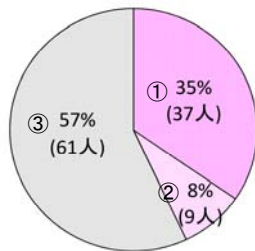
① 改善点があると回答された方

#### ○具体的な意見

- ① 護岸
  - ・護岸の高さをもっと高くして欲しい(2件)
- ② 潜堤
  - ・現在の潜堤より高くし、越波を少なくして欲しい(1件)
- ③ その他(具体的に)理由
  - ・離岸堤から護岸間の土砂堆積対策。(1件)

### 問11【その他の効果】

※有効回答数: 107



- ① 効果があった
- ② 効果はなかった
- ③ どちらとも言えない

#### ○設問

この事業を行ったことが地域活性化に結びついたなど、「事業目的」に掲げたもの以外に効果があったと思いますか。

#### ○具体的な意見

- 効果があった理由
  - ・散歩コースが増え、住民の会話が aumentata (2件)
  - ・町がきれいになった(1件)
  - ・精神的安心感が出来た(1件)
- 効果がなかった理由
  - ・地域振興や活性につながったかは別問題(1件)

### 問12【その他意見(アンケート対象事業)】

※有効回答数: 91

#### ○設問

この鱒ヶ沢漁港の護岸や潜堤の整備事業に対して、その他のご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

#### ○具体的な意見

- ・潜堤には、海藻、貝類(アワビ)等もつき、今は、良い漁場になってきているので、大変良い(1件)
- ・自然環境を保護しながらの事業を行って欲しい(1件)
- ・護岸・潜堤の管理は、地元住民として出来ることがあれば協力したい。(1件)

### 問13【その他意見(公共事業全般)】

#### ○設問

漁港の整備など公共事業に対して、その他のご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

#### ○具体的な意見

- ・老朽化箇所の部分的な修繕もやってほしい。(1件)
- ・潜堤の整備事業について知らないことがあった。今後は、注意して見る様にしたい。(1件)

(別紙)

# 事後評価箇所状況写真

(1/2)

		整理番号	H30 - 2
事業名	海岸保全施設整備事業(高潮対策事業)	箇所名等	鱒ヶ沢漁港

【鱒ヶ沢漁港 空中写真】



(平成28年撮影)

【西側工区 護岸全景写真】



(平成30年5月撮影)



(平成30年5月撮影)

【東側工区 潜堤全景写真】



(平成30年5月撮影)



(平成24年8月撮影)



(別紙)

# 事後評価箇所状況写真

(2/2)

			整理番号 H30 - 2
事業名	海岸保全施設整備事業(高潮対策事業)	箇所名等	鱒ヶ沢漁港

## 【西側工区 護岸】

### ①整備前の越波状況写真



(平成12年12月撮影)

### ③ 整備前後の状況写真



(平成12年12月撮影)



(平成21年3月撮影)

## 【東側工区 潜堤】

### ①整備前の越波状況写真



(平成16年8月撮影)

### ② 整備後の状況写真



(平成30年1月撮影)

## 費用対効果分析説明資料

		整理番号	H30 - 2
事業名	海岸保全施設整備事業(高潮対策事業)	箇所名等	鱒ヶ沢漁港

## 【費用対効果の算定内容】

## 1. 費用対効果分析の算定根拠

「海岸事業の費用便益分析指針(改訂版)平成16年6月」に基づき算定した。

本マニュアルは、海岸背後地の資産等を防護することを目的として実施する海岸保全施設整備(総費用C)によってもたらされる浸水防護の効果等を便益(B)として評価するものである。

## 2. 算定の前提条件

(1) 評価基準年度:平成30年度

(2) 評価期間:事業期間(H13~H25) + 50年間

(3) 費用及び便益の現在価値:投資額、耐用年数期間内に発生する年間便益を、現在価値化(社会的割引率4%)して用いる。

また、費用便益分析で扱う費用は、海岸デフレーター<sup>※1</sup>を乗じ、計上している。

※1)海岸デフレーター(治水経済調査マニュアル(案)各種資産評価単価及びデフレーターH30.2月改正)

## 3. 総費用(C)の算定

・ 総費用(C) = 3,421 百万円

現在価値化後の総建設費 3,159 百万円

現在価値化後の総維持管理費 262 百万円

・ 総費用算出根拠

建設費 1,923 百万円 ※消費税を控除

維持管理費 10 百万円/年 ※事業費の0.5%、消費税を控除

## 4. 総便益(B)の算定

・ 総便益(B) = 34,952 百万円

現在価値化後の総浸水防護便益 34,952 百万円

・ 総便益算出根拠

想定浸水区域

面積 27.4 ha

世帯数 433 棟

事業所数 14 箇所

浸水防護便益 1,286 百万円/年

一般資産被害額 454 百万円/年

公共土木被害額 818 百万円/年

公益事業等被害額 14 百万円/年

## 【費用対効果分析の結果】

$$B(\text{総便益})/C(\text{総費用}) = 34,952 \text{ (百万円)} / 3,421 \text{ (百万円)} = 10.22$$